

市民ネットワーク北海道 議会レポート✕北広島



北広島市議会議員

鶴谷さとみ



北広島市議会議員

佐々木ゆりか

介護のしくみに市民の声を届けよう

社会全体で高齢者の介護をささえるしくみとして、2000年に介護保険制度が導入され25年が経ちました。65歳以上の高齢者の割合は、制度創設時の17.4%から、2024年には29.3%と過去最高を更新し、今後も増え続けることが予想できます。介護サービスの需要が増えていく一方で、2024年度の介護事業者の倒産が過去最多の172件となり、そのうち訪問介護の事業者が約半数を占め、特に小規模事業者の経営は厳しいものとなっています。訪問介護は、在宅生活に欠かせないサービスです。小規模事業者も地域福祉を支える重要な存在であり、訪問介護をはじめ、介護職の社会的役割に見合う報酬となるよう改善するべきです。

2025年11月、介護事業所を含む市内の4団体から、2027年度介護保険制度改正に関する国への意見書提出を求める請願が、北広島市議会に提出されました。要望項目は、ケアマネジメントの10割給付や、訪問介護、通所介護において要介護1と2のサービスを介護保険給付から外さないこと、訪問介護の報酬単価の引き上げなど6項目です。請願は、総意をもって採択となり、意見書が提出されました。

高齢になっても、地域で安心して暮らし続けるための介護や支援のしくみに市民の声を届け、持続可能な福祉のまちづくりをともにすすめていきます。



▲民生常任委員会での審査の様子（2025年12月18日）

9/10 こんな北広島に暮らしたい 2026年度予算要望を提出

市内路線バス再編に伴うダイヤ等の周知徹底、多様な学びの機会確保としてフリースクール授業料等の負担軽減策、西部地区義務教育学校設置について丁寧な市民参加と共通理解を図る取り組み、飲用地下水の水質(PFAS)調査の支援などの重点項目のほか、9分野70項目の要望を上野市長に提出しました。



北広島市議会報告 2025年第2回臨時会

7/28

「義務教育期間における多様な学習環境の整備」
に関する請願 不採択

第2回定例会で継続審査となった請願は、建設文教常任委員会による市内小中学校の視察調査が行われ、7月18日に再び審議されました。議論では、請願趣旨に賛同する発言の一方で、「具体的な請願内容が不足している」「国や道が検討する事項もある」等の指摘が挙げられました。市民ネットは、不登校児童生徒等への支援の拡充を求める保護者の願いを汲み、学習環境の整備に向けた議論をすすめるため採択するべきと討論しましたが、不採択となりました。

多様な学びの環境整備に関しては、第4回定例会において、施設の老朽化が問題となっていた教育支援センターみらい塾が、2026年4月から「天使の園」施設内の建物へ移転することに伴い、工事等費用520万円の補正予算を可決しています。